

十周年記念号によせて

駒沢大学北海道教養部長
岩見沢駒沢短期大学長

岡 本 素 光

本学が駒沢大学分校としてこの地に開設されてから十年の歳月を経た。往時を回想して今昔の感に堪えぬものがあるが、教師諸賢の研究活動や学生諸君の研修をはじめ諸種の活動は当初より頗る活発であった。新設大学としてその点大いに安心したものであった。大学の経営や運営は常に相当な困難を伴うものであり、新設校に於ては尚更のことであるからである。

開校十年の記念事業として数種の計画を樹てた中で、その一つとして毎年発行してきた「紀要」を増頁して「記念特輯」を発行することにした。十年間の梗概を記するのが普通であるが、それは別に発行したものがあからである。「紀要」も既に十号を重ねるに至ったが年々部数も増加し内容も精緻なものとなってきている。

学校が新らしいので勢い執筆者も少壮気鋭の学究が大部分を占めることとなったが、これは一つの特色といえるかもしれない。論題が多種になっているのは執筆者がそれぞれ各学部学科に所属しているからである。これ等多彩の論攻が先学同学の御激励を得て学界に些かでも貢献することができれば喜びこれに過ぎるはない。